



輝いている人
空想を膨らまして描く絵が
好き

日本航空の最新鋭「ボーイング787」の機体に、自作の絵が描かれたのが本行琢登さん（総社東中学校2年）だ。

機体に描かれた絵は小学3年生のとき描いたもの。日航とスタジオジブリの共同企画で行われたイラストコンテストで、応募総数1万3474点の中から優秀賞に選ばれた。「まさか自分の作品が選ばれるなんて信じられなかった」と、当時を振り返る。実は1時間半ほどで何も考えずに書き上げたと教えてくれた。

コンテストのテーマは「あなたが乗って旅してみたい、空飛ぶ乗り物」。本行さんの作品は、水色の3つのプロペラを付けた赤い鳥の形だ。スタジオジブリ映画監督で審査員長の宮崎駿さんに「子どもの純粋な気持ちで描いている絵」と評

価された。

機体の納入が遅れていたが、ようやく本行さんの絵が描かれた飛行機が完成。10月13日、羽田空港で行われたお披露目式に招待されたお披露目式に招待された。お披露目式に招待されたお披露目式に招待された。

この飛行機は、北京便やポストン便などの国際線に就航する。お披露目式で機内に入り、「この飛行機で飛びたいなと思った」と、話してくれた。

小学3年生から絵画教室に通い、現在も続けている本行さん。目の前にもあるものをそのまま描く絵は得意ではないという。しかし、「空想を膨らまして描く絵が好き」と、はにかみながら話す彼の絵には、大人には描けない不思議な想像力が詰まっている。

日航「ボーイング787」に自作の絵が描かれた

本行 琢登さん（福井）

さあ、はじめよう！

思いやり、親切

鉛筆を忘れた人を「困っているのかな」と思う。しくしく泣いている人を「悲しいのかな」と思う。ぼつんと一人である人を「さみしいのかな」と感じる。がんばってやりとげた人を「えらいな」と感じる。大切にしたい思いやりの心です。

でも、心の中で思うだけではもったいない。鉛筆を忘れた人に「これ使っていいよ」と貸してあげる。しくしく泣いている人に「どうしたの」と声をかける。ぼつんと一人である人に「いっしょに遊ぼう」とさそう。がんばってやりとげた人に「やったー」と拍手する。

まわりの人の心を感じとり、思いやりの心を行動にうつすこと。それが「親切」です。

親切にすれば、まわりの人も自分もうれしくなる。親切にされたら、自分も親切にしたい。「ありがとう」「ごめんなさい」の言葉とともに、親切は次の親切につながっていきます。

問い合わせ 学校教育課 ☎92-8358



総社中央小学校5年生が井尻野幼稚園の園児のために開いた「仲良くなるう会」。来年4月に同小学校へ入学する園児に優しくルールを教えたり、いっしょに学校を探検したりして、交流を深めていました。



推進啓発ポスター

季節の絵本！

『サンタクロースってほんとにいるの？』
てるおか いつこ・文 すぎうら はんも・絵
福音館書店



今月のテーマ 「クリスマス」

まちがクリスマスのイルミネーションに彩られるころ、「ねえ、サンタクロースってほんとにいるの？」って子どもから何度となく聞かれた言葉。親の答えは決まっています。「ええ、もちろん。いるに決まってるじゃないの」。

子どもの質問に答えながら、家族で楽しくクリスマスを迎える準備をしてみましようか。

子育て王国そが